

学校評議員会の実施報告書

学校名 岐阜県立長良特別支援学校
校長 鹿嶋 成美
所在地 岐阜市長良 1237-1 電話 058-233-7418

- 1 会議の名称 岐阜県立長良特別支援学校 第2回評議員会
- 2 会議の構成
- | | | |
|----|--------|-----------------------|
| 委員 | 嶋崎 喜代美 | 東長良公民館主事 |
| | 川崎 博之 | 長良緑町自治会長 (欠席) |
| | 下平 悦子 | 長良医療センター 医療社会事業専門員 |
| | 安藤 由美子 | 長良園芸 |
| | 星山 真喜子 | 長良特別支援学校 PTA 副会長 (欠席) |
- 学校側
- | | |
|-------|-------|
| 鹿嶋 成美 | 校長 |
| 前田 晴美 | 教頭 |
| 佐藤 栄一 | 事務長 |
| 井原 誠 | 小学部主事 |
| 林 昭男 | 中学部主事 |
| 大平 隆司 | 高等部主事 |
| 佐野 幸弘 | 教務主任 |
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域の代表者や福祉・医療機関の関係者及び学識経験者から幅広く意見を聞き、その提言・助言をもとに地域社会からの支援・協力を得て「開かれた学校づくり」の推進を図る。
- 4 会議の開催 平成31年2月4日(月) 13:30~15:00
- 5 会議の概要
- 議事
 - 平成30年度 第1回学校評議員会後の取組
 - 平成30年度 部・分掌の成果と課題
 - 「教育活動に関するアンケート」分析と今後の対応
 - 児童生徒の活躍等
 - 教職員の働き方改革の取組
 - 学校評議員からの意見、提言
 - おわりの言葉

【学校評議員からの意見、提言】

① 平成30年度 部・分掌の成果と課題について

意見1：金華祭を見て、子どもたちの頑張りもそうだが、先生方の取組も素晴らしい。その場の雰囲気も良く、とても感動した。

意見2：居住地の学校との交流が多く、行うことは双方にとって良いことになっていると思われる。PTAも地域との交流が盛んで、素敵なことである。地域の小中学校との交流は、全員が対象か。

回答1：居住地交流は小中学部の生徒の中で希望者が参加している。紹介させていただいたように、直接交流の他に手紙などのやり取りをする間接交流も行っている。

意見3：ドリームアート展をマーサ21で見た。豊かな表現力に感銘を受け、特に時間もかかる浴衣の製作レベルに感動した。今後、伸ばしていけると良い。

② 児童生徒の活躍等

意見1：漢字検定への取組は素晴らしい。準2級や2級の合格者を出していることに、生徒本人の努力もあるが、先生方のご指導も素晴らしいと感じている。

意見2：いろいろな取組は、結果ダメでもチャレンジすることは大切である。その子その子の能力、関心をキャッチして引き出してほしい。

意見3：遠隔授業の取組について、共感の場をもつことは良いことである。テレビの番組（ハートネット）で、ロボットがお茶を出し、遠隔で接客し生き生きと働く姿があった。会話が広がる。今後に期待している。

回答1：小学部の集会場面では、病院とカメラを通すことで、本人、保護者ともよりつながった感想をもったようである。

意見4：地域の人々や学校の中でも、いろいろな人とつながることは大切である。ハローワーク等外部機関と早いうちに連携されていることは良いことで、社会に出てからではつながることが難しくなる。保護者は将来の見通しをもてずに心配している。学校にいる間につながっておくことが大切である。病院もサポートに入りたい。

意見5：学校だよりを町内だけでなく、公民館にも配付した方が良いのではないか。高齢者の方の利用もあり、記事にされた時に多くの方が目にする機会を設けたほうがよい。

回答2：検討して、依頼させていただく。

回答3：効果的な広報のあり方も重要だと考え行っていきたい。教員等が気付かない点は、事務側で発信し、意識改革にあたりたい。